

令和7年度愛媛県社会教育研究大会 教育長あいさつ

令和7年11月12日（水）
エスポワール愛媛文教会館

本日、令和7年度愛媛県社会教育研究大会が、県内の社会教育委員の皆様並びに多数の関係者の方々の御参加を得て、このように盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

皆様方には、日頃から、それぞれの地域において、生涯学習・社会教育の充実・発展に御尽力を賜っており、改めて深く敬意を表する次第です。

さて、現代社会は、人々のライフスタイルや価値観が複雑化・多様化している中、人口減少の社会に及ぼす影響が深刻化し、地域におけるつながりや支え合いが更に希薄化していくことが懸念されているところであり、生涯にわたる学びを通じて人々の成長を支え、持続可能な地域づくりに寄与する社会教育の役割は、ますます重要となっております。

このため、県におきましては、教育基本方針に「社会総がかりで取り組む教育の推進」を掲げ、学校・家庭・地域住民・企業等の多様な主体が連携・協働し、子どもの学びの機会の確保や家庭教育支援の充実に努めるとともに、学校と地域をつなぐ人材の育成に取り組んでおります。また、今年度からは、子どもたちの意見を取り入れた地域活動を企画・運営できる「多世代交流インストラクター」を養成するなど、子どもたちが地域に愛着を持ち、健やかに成長できるよう努めているところです。

本日の研究大会では、社会教育関係者が一堂に会し、「地域コミュニティを支え、豊かな未来を築く社会教育のあり方」を主題に、地域づくりを支える社会教育の方向性について、研究協議が行われるとお聞きしており、大変心強く感じております。

どうか皆様方におかれましては、引き続きそれぞれの地域・お立場で積極的な活動を展開いただき、本県の生涯学習・社会教育の推進にお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、本大会が実りある会

になりますことを御期待申し上げます。

終わりに、愛媛県社会教育委員連絡協議会のますますの御発展と、御
参会の皆様方の御健勝、御活躍を祈念申し上げまして、お祝いの言葉と
いたします。